



五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —

第221号:R1.7.2五泉の良いことつたえ隊 青木です。

五泉市が誇る農産物シリーズ vol.12

農作業の様子と作物の成長を通して、
五泉市の移り変わる季節を見ていきたいと思います

「チューリップの球根を作る、武藤さん」



乾燥させた球根の皮をむき、根っこを取り
球根の状態を見ながら少しずつ嫁入りの
準備をしています。

今回はサイズの選別とワックス掛け。

9号～13号までの大きさに選別します。

9号は小さいのでまだ手元に。

それ以上の大きさは出荷されます。

パスタを計量するパスタメジャーという
ものがありますが、

あれに似た球根選別板というもので、、、。

いえいえそれでは大量の球根、出荷までに時間が掛かります。
ありました！選別する機械が。

ゴロゴロ転がり小さいものから穴に落ち選別されていきます。
ガッチャンガッチャン音がします。

お次はワックス掛け。

湿らせたおがくずの中に球根を入れ、磨きをかけます。

雨が降った日の方が表皮が破れにくくやりやすいのだそうです。

武藤さん、手で磨いてくれましたがやはり機械の方が
もっと艶が出るそうです。

うんうん、機械をサポートして出てきた球根はピッカピカ！

五泉産の球根は、ここまで手間を掛けて作られます。

そのこだわりが職人魂であり、意地であり、

モノづくりをする五泉の人の気質のように感じます。

すっかり美人に仕上がった球根。

あとは出荷を待つばかりです。





掲載記事

facebook



「いいね！」してね。

五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —

第227号:R1.7.11五泉の良いことつたえ隊 青木です。

五泉市が誇る農産物シリーズ vol.17

農作業の様子と作物の成長を通して、
五泉市の移り変わる季節を見ていきたいと思ひます

「ネギを育てる川口さん」



”ねぎっ娘”の出荷が始まりました！

ねぎっ娘とはネギが大きく成長する過程で
早い段階で出荷されるもの。だから短めです。
今の時期、そう麺や蕎麦には欠かせないですものね。
白い部分25cm、全体で43cmの長さに揃え、
冷蔵庫に入るような長さ基準で出荷されます。
だいたいお盆くらいまでスーパーや直売所に並びます。
それ以降に60cmで出荷されるものを夏ネギといい、
10～12月に出荷される大きく育てたネギは
冬ネギといいます。
鍋には大きいネギがいいですものね。
出荷に合わせて白い部分を残すために、
これからも土寄せが肝心。



さて掘り出したネギ。

まずは根っこを切り落とします。根本から5mm以内。
そして緑の葉を3枚残して上の皮を剥ぎます。
これもまた専用の便利な機械がありました！
空気圧で皮をあっという間に剥がしてくれます。
水で洗うと傷みやすくなるのでこちらの方がいいそうです。
それにしても一本一本の作業は大変です。
しかも1日千本の計画！
S・M・Lとサイズ分けしてねぎっ娘のラベルを貼ります。
最後に葉を切り落とし箱詰めして農協へ。



ネギは疲労回復にもいいようですから
夏バテ防止には是非どうぞ(*^^*)





五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —



第231号:R1.7.23 五泉の良いことつたえ隊 青木です。

「ふるさとチョイスcafe」で五泉市PR！

7月19日（金）～21日（日）の三日間、
五泉市役所ふるさと納税担当職員さんに同行しイベントを
開催しました。

会場は東京の有楽町にあり、ふるさと納税の手続きや、
相談、イベントなど開催しているスペースです。

今回五泉市が開催するイベントでは
産業、施策、桜クラウドファンディングを
スライドを使用して説明。

ふるさと納税のお礼の品提供事業者様のご協力により

試飲試食や、お礼の品を展示しました。

中々できないご飯4種の食べ比べや、
ニットに触れられることはとても好評でした。
見て聞いて、触れて味わって五泉市を存分に
満喫して頂けたようです。

展示一つ一つのお礼の品から

奏でるストーリーそのものが五泉市PR。

いいモノに触れ寄付をして下さった方、

五泉市に行ってみたく興味を持って下さった方、

地域おこし協力隊をしてみたい方など、

様々に交流できたことはとても良かったです。

一人でも多くの方に五泉市を記憶して頂けたら嬉しいです。

お越し頂いた五泉応援団の方の情熱的な五泉市PRは

とても心強かったです。

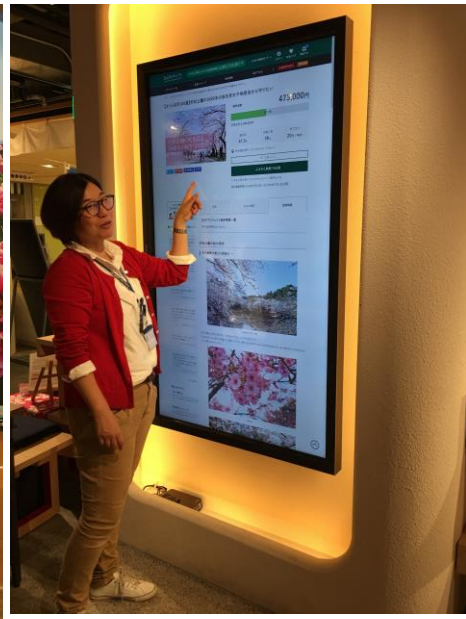
ご来場下さった皆様、出展に協力して下さいました事業者様、

五泉出身シンガーソングライター安中由依さん、

cafeスタッフの皆様、ありがとうございました！！









五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —

第234号:R1.7.26五泉の良いことつたえ隊 青木です。

五泉市が誇る農産物シリーズ vol.18



農作業の様子と作物の成長を通して、
五泉市の移り変わる季節を見ていきたいと思います

「チューリップの球根を作る、武藤さん」

ようやく出荷です。

「腐った球根が混じっているとフルーティーな匂いがするんさ。」
「だっけ、昨日の夜中まで掛かってぜ～んぶ匂い嗅いだんよ。」
「旦那からは警察犬みてだな、って言われたて。」（笑）

今日も面白い武藤さん。

ここまで来るのに大変でしたね！

球根を植え、花を咲かせ、刈り取り、球根を拾う。
そして乾燥させ、磨きを掛け、大きさを分類。
最後の最後は腐った球根が混じっていないか
出荷前日夜に総チェック。

さすがに頭がクラクラしたそうです。

あの量ですから！

やっと一息つけますか？

「これ終わっと、芋（さといも）だっけ。」

「いつも忙しんで。」

程々に雨の提供をお願いしま～すと天にお願いしたくなる。

さて、球根農協では球根検査員が到着！

腐っていないか、皮切れがないか、大きさや形など
厳しくチェックしていきます。

武藤さんの球根も・・・

ハイ！すべて「優」がついて出荷です！

チューリップを見かけたら、五泉市を思い出してください！





五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —

第239号:R1.8.7五泉の良いことつたえ隊 青木です。

五泉市が誇る農産物シリーズ vol.19

農作業の様子と作物の成長を通して、
五泉市の移り変わる季節を見ていきたいと思います。



「いちご“越後姫”を育てる 権平さん」

久しぶりのいちごハウス。
ランナー（ツル）がグリーンカーテンのように成長していました。
ランナーは1つの親株から何本も出ます。
1本のランナーにはいくつもの子株がつかます。
また、親株に近い方から太郎苗、次郎苗、そして三郎苗と呼ぶそうです。 名前がかわいらしい♪
さあ苗の準備です。
根本から半分くらい切り取り、それからまた切り分けて。
おおまか大小に分けます。
その後冷蔵庫に保管し休眠。
次は50℃で3分間の温湯消毒で殺菌。
念のため確認しましたが、茹ることはないそうです。
いい湯かな～。
準備万端の状態です育苗ポットに一つずつ丁寧に植えます。
ハウスの中に所狭しとビッシリ置かれました。
しばらくはここでゆっくり根を張ろうね。





五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —

第247号:R1.8.23五泉の良いことつたえ隊 青木です。

「現代総踊りGOSENいずみさん」



イベント先でよくお会いします。

大きく優雅でエネルギッシュな舞に魅せられて、
ジーンとしたり、笑顔が電線したり、たくさんのエネルギーを充電させてもらっています。
そんな「GOSENいずみ」さんの練習風景に興味があり、見学をさせていただきました。

「カラー！」とか、「そこそこー！合ってない！」とか、半ば期待して行ったのに。
和気あいあい〜い。「今度私これ踊りたい。」「いーよ。」みたいなゆる〜い感じ。

下駄踊り一緒にやろ〜よ。簡単かた〜ん。って。

踊りを知らない私のことも気軽に誘ってしまうゆるさ加減。優しく指導、やさしく調整。
そんな中でも一人ひとりが一生懸命で、汗がキラリと光ります。

チームへの憧れから踊りを始めた人、踊りが好きだから。

高いモチベーションの理由はシンプルです。

当初5人からスタートし、今では30人弱くらい。5歳から始めた子は既に高校生！

現在は「にいがた総踊り」（9/14~16新潟市内8か所で開催）

に向け毎晩練習を積み重ねています。

これまで新潟市長賞、新潟県知事賞など5回以上も受賞してきたチーム。

今年も狙っちゃうのでしょうか？”笑顔の花を咲かせよう”をモットーに各地を舞い踊る
GOSENいずみさんに注目！！私も観に行こうと思います!(^^)!

にいがた総踊りについてはこちら↓

<https://www.soh-odori.net/>



五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —

第252号:R.8.27 五泉の良いことつたえ隊 青木です。

「百万遍念仏を体験！」



五泉市栗島公園内には大きなお地蔵様が安置されています。

いつも公園に来る人々を優しい眼差しで迎えてくれる子安延命地蔵尊。

子授かりや子ども達の成長を願い多くの方々がお参りし昔から今も親しまれています。

8月23～25日子安延命地蔵尊世話人会の皆様により
百観音院のご住職先導のもと例大祭が行われました。
初日は朝から準備に大忙し。

“おとこしょ”はお地蔵様や周辺の祭礼準備をしたり

“おなごしょ”は公会堂で300個余のおみこくの用意。

「昔は団子を作ってたけど、も～大変だっけ
お菓子にしたんだわ。これおいしんよ。」

「ほらきれいだろー。」

館入りの落雁と金平糖の色彩がキレイ！

ひと包みずつ丁寧に“おなごしょ”が包んでいました。

「ここは大川前だろー、昔は船が通ってたんよ。

新潟から塩運んでさー。

早出川と阿賀野川が合流するところ
だったから溢れると大変だったんだ。

だっけお地蔵様があるとも言われてるんだわ。」

興味深い話が次から次へと。

古き良き五泉を知っている方々が今こうして
お地蔵様を守っていらっしやいます。

写真や書物では残っていてもこうして直接、
昔の話を聞けるこの貴重な体験。

ここに五泉の宝あり！と思いました。

お地蔵様をととても大切そうに丁寧に
お話して下さった世話人会の今井会長。

取材に応じて下さった先人の皆様方
どこか懐かしい温もり。

なかなかできない百万遍念仏も体験させて頂き
ありがとうございました。

百万遍念仏は自由参加です。

来年、是非体験してみませんか？

